

広島職業リハビリテーション研究会 研究大会

参加要項



障害のある人の就労・社会参加を考える

ー障害者自立支援法の光と影ー

とき 2008年3月22日 (土) 13:30-15:30

ところ 広島県健康福祉センター 2階・総合研修室

(広島市南区皆実町1-6-29) TEL 082-524-7111

定員 90名

大会参加費 一律 500円

主催 広島職業リハビリテーション研究会

1 開催趣旨

障害者の自立と社会参加において就労の果たす役割は大きく、障害者自立支援法においても就労支援の施策は大きな柱とされています。

本シンポジウムはこの支援施策を手掛かりにして、障害のある人の多様な働きかたが実現し、「能力及び適性に応じた」社会参加が可能になるためには何が必要か、参加者と共に考えることを目的とします。

障害者自立支援法については関係団体、事業所から多くの危惧が表明され、改善策が示される中、新事業に移行し新たな働き方や支援の方法を模索している事業所も見られます。

ここではシンポジストにより新旧事業の支援現場から働き方や働くことへの準備のすすめ方等について実践報告を行い、この中で新事業の特徴や利点、課題を明確にし提案を行います。この報告や提案等をもとに参加者との意見交換を行い、就労支援のありかたについて夫々の考えを深めることを目指します。

2 プログラム

13:00 受付

13:30 開会あいさつ 広島職業リハビリテーション研究会 会長 倉西 大助

13:40 シンポジウム

コーディネーター 草羽 俊之 (広島市立広島特別支援学校)

シンポジスト

川村 智也 (エフピコグループ 指定障害者福祉サービス事業者)

連 政江 (広島愛パック株式会社 工場長)

川崎 俊和 ((社福) 聖恵会 理事長)

～企業が主体として実施する就労継続A型事業所について～

～重度障害者にとり就労継続B型事業の持つ意味と課題～

梶川 繁 (多機能型事業所 ウイング)

～企業と連携し就労の場を確保・就労移行事業について～

坂本 幸司 (広島県立呉特別支援学校 教諭)

～特別支援学校における就労移行の取組みと課題～

15:30 閉会

平成19年度 広島職業リハビリテーション研究会 研究大会

参加申込用紙

定員になり次第締め切らせていただきます

FAX送信先 082-420-2283

名前 (ふりがな)
所属
職名
連絡先 〒 TEL : FAX : E-mail

参加費は、当日 受付にて徴収いたします。

お問合せ

広島県立障害者リハビリテーションセンター
障害者支援施設 あけぼの 内
広島職業リハビリテーション研究会事務局
082-425-1455 内線 502
担当者 江川・高上